

アジア政経学会 2011年度第5回理事会 議事録

1. 日時 2011年10月15日(土) 12:30~14:00
2. 会場 同志社大学 新町キャンパス 尋真館 Z29 番教室
3. 理事総数 24名
4. 出席者 20名(大橋、梶谷、金子、小嶋、巖、佐藤、澤田、清水、園田、高橋、高原、滝口、竹中、谷垣、永井、平岩、松田、丸川、三重野、山本)
5. 委任状提出 0名
6. 出席者合計 20名
7. 議長 高原理事長
8. 議事
 - (ア) 定刻に、高原理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・園田理事より本日の出席者が20名にて、定足数12名以上を満たしているので、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として高橋伸夫氏、山本信人氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。
 - (イ) 前回(2011年9月3日)理事会議事録の確認を行った。
 - (ウ) 今回の学会大会を主催する同志社大学を代表して浅野監事から挨拶があり、今大会に関する報告が竹中理事と巖理事から行われた。

議案1 理事長の選出

高原理事長から、理事選出時において得票多数であること、これまでの学会活動に多大な貢献をしてきていること、人格・識見ともにすぐれていることなど、次期理事長として望ましい人選の基準が示された。続いて、投票を行い、満場一致で新理事長に金子理事が選出され、金子理事もこれを受諾した。

議案2 公益法人制度改革について

高橋理事より、新定款案が完成したことが報告され今後は会計書類の作成など、より実務的なレベルでの作業に移行することが報告され、了承された。

議案3 『アジア研究』の発行状況について

大橋理事より、第57巻第2号の編集状況について報告されるとともに、最近の投稿状況及び採択状況について報告があり、了承された。

議案4 ニュースレターの発行状況について

丸川理事から36号が発行されたことが報告されるとともに、現在行われている大会に関する原稿依頼を行う予定であることが報告され、了承された。

議案5 優秀論文賞の選考結果・理由について

深川前理事から、慎重な選考の結果、張馨元（東京大学）「中国のトゥモロコシ流通市場における「經紀人」の役割——吉林省の事例」（『アジア研究』第56巻第4号収録）を優秀論文賞として推挙したいとの報告があった。手堅い実証研究であり、アジア研究にふさわしい視点を備えているというのが選考理由である。

議案6 来年度全国大会、東日本大会、西日本大会について

金子理事長から、東日本大会については大東文化大学、西日本大会については広島市立大学が、それぞれ開催校となることを承諾し、現在、日程を調整中であること、また全国大会の開催校については現在交渉中であることが報告された。

従来、全国大会の開催校が3年に1度西日本が担当、2度東日本が担当するルールがあったものの、そのルールも柔軟に適応する必要があるかもしれないことが、高原前理事長から指摘された。

議案7 ホームページの運営について

澤田理事より、ホームページの英語版の整備が整いつつあること、また会員新作情報を寄せてほしい旨の報告がなされた。

議案8 新会員名簿の刊行について

園田理事より、2011年度の会員名簿が学会大会の前に1251名の会員向けに発送されたことが報告された。

議案9 入・退会者について

園田理事より、入会申請者5名、再入会申請1名、退会者2名、逝去1名、休会者2名の報告がされた。

<入会者>施錦芳、小野真由美、真野俊樹、崔慶原、岡部恭宜

<再入会者>上澤宏之

<退会者>大内哲也、早瀬武俊

<逝去>細谷千博

<休会者>吉田麻美、布施哲

次回理事会は11月19日（土）15時から、慶應義塾大学にて開催予定。

以上

高原理事長が午後1時50分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の議決を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成23年10月15日

特例財団法人アジア政経学会

議長

高原 明 生



議事録署名人

高橋 伸 夫



議事録署名人

山本 信 人

